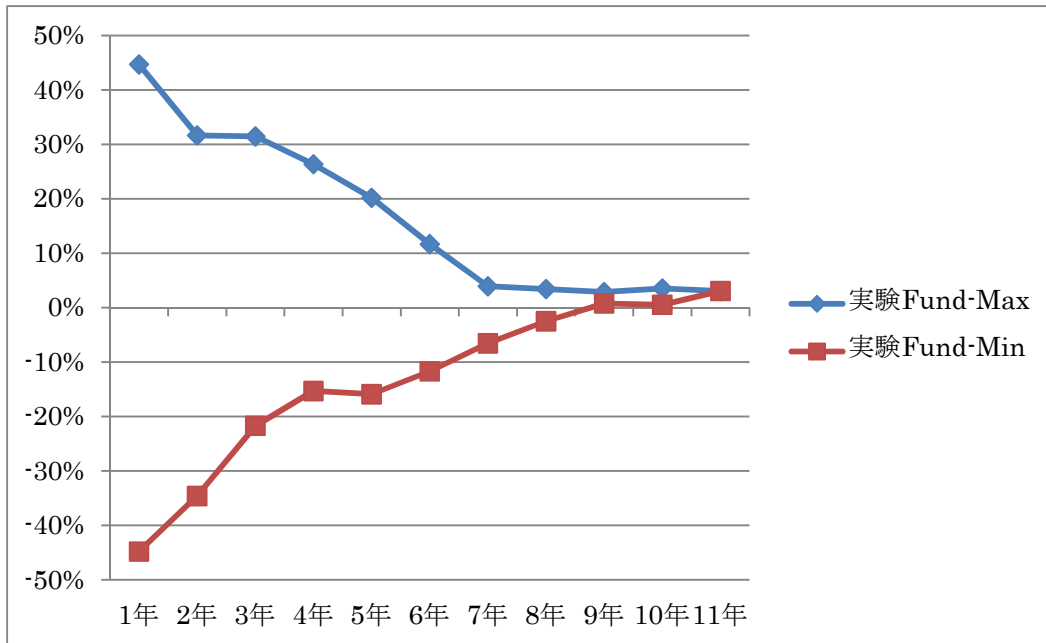
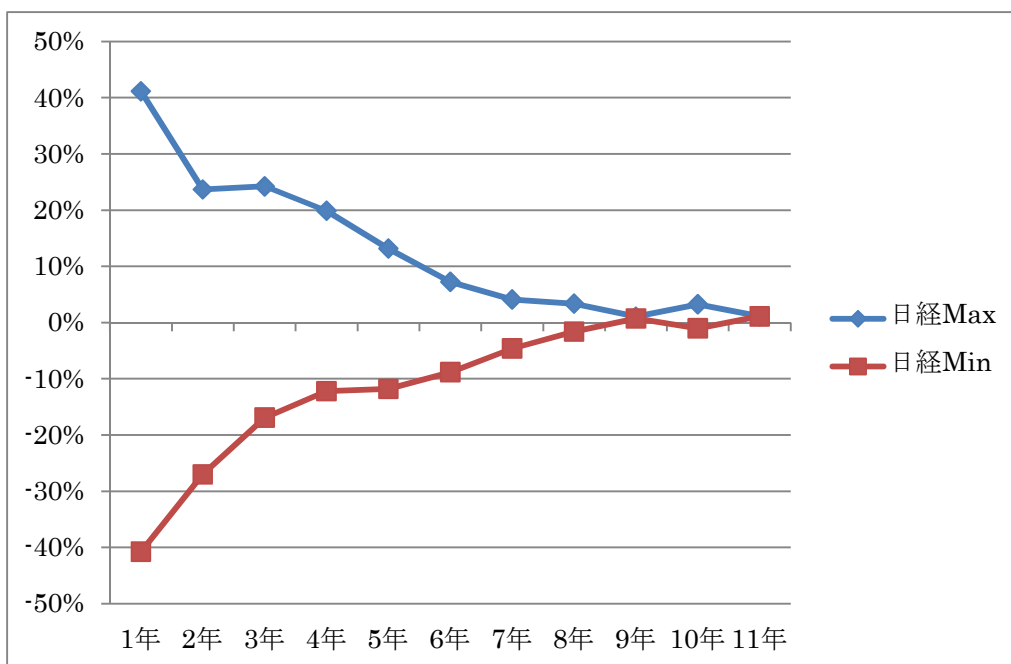


時間の効用 ～リスクを削り取る～ 続・投資実験レポート2012

- ・実験期間は2001年末から2012年末までの11年間(実験は継続中)である。
- ・次のグラフは、実験ファンドにおける投資年数別利回り(複利ベース)の最大値と最小値を示したものの。
- ・青の線はそれぞれの投資年数において得られた最良の利回り(複利)を示し、赤の線は逆に最悪の利回り(複利)を示している。



・ちなみに、日経平均(日経平均連動型上場投信)に投資した場合は次の通りとなった。



・グラフの元となったデータは次の通りである。

〈期間別 複利利回り 最大値&最小値〉						
投資期間	実験Fund		日経平均		TOPIX	
	実験Max	実験Min	日経Max	日経Min	東証Max	東証Min
1年	44.70%	-44.80%	41.15%	-40.76%	44.76%	-40.20%
2年	31.66%	-34.60%	23.68%	-27.00%	26.73%	-26.90%
3年	31.47%	-21.70%	24.22%	-16.90%	26.19%	-18.10%
4年	26.36%	-15.30%	19.89%	-12.20%	19.94%	-14.30%
5年	20.19%	-15.90%	13.17%	-11.80%	13.02%	-13.60%
6年	11.67%	-11.70%	7.25%	-8.82%	7.23%	-11.00%
7年	3.95%	-6.53%	4.10%	-4.61%	2.44%	-7.15%
8年	3.43%	-2.48%	3.37%	-1.60%	2.23%	-2.85%
9年	2.85%	0.78%	1.07%	0.74%	-0.08%	-0.50%
10年	3.54%	0.54%	3.25%	-1.02%	1.80%	-1.98%
11年	3.06%	3.06%	1.11%	1.11%	-0.13%	-0.13%

・日経平均に 1 年間だけ投資した場合、最も良い年では+41.15% (2005 年) のリターンが得られたことになる。ただし、最悪の年では△40.76% (2008 年) のロスを蒙ってしまうのだ。投資期間が 2 年の場合は、最高で+23.68% (2004~2005 年)、最悪は△27.0% (2007~2008 年) である。

・要するに期間が短くなればなるほど、結果がどうなるのか見当がつかなくなる。逆に投資期間が長くなればなるほど、リターンの変動幅は狭まる。時間(投資期間)と不確実性(すなわちリスク)の関係がここに示されていると思う。

・やはり注目したいのは短期間しか投資しないことの怖さである。1 年や 2 年程度では「投資」とはとていえたものではない、ただの「投機」なのだ。

・株価指数(日経平均は 225 銘柄、TOPIX は 1,694 銘柄から成る)に投資するタイプでこのボラティリティ(変動性のこと)である。思いっきり分散を効かせてこの変動幅なのだ。単独銘柄であれば価格の変動は当然、非常に激しいものとなる。

・実験ファンドの投資先銘柄数は一番多い時期でも十数銘柄である。そのため、株価指数に比べて変動率はいっそう激しい。最も利回りの良い年では+44.70%だが、一番ひどい年では△44.80%である。ただし時間の持つ効用を如実に表してくれたのも実験ファンドだった。

・実験ファンドに 9 年以上投資し続けた人は、誰一人として損失を被ることがないという結果となった。投資期間が長くなるにつれてリスクが削り取られていく様子が見て取れる。

・わずか 11 年間のデータだが、期待通りのきれいな数字が取れた。投資の実験者として満足である。

(庄司)

追伸:

レポートの続き(随時更新)は Facebook ページ「楽しい投資研究所」

<http://on.fb.me/H3fnwP> にて、ご覧いただけます。

<楽しい投資友の会 へのお誘い>

楽しい投資友の会は楽しい投資研究所のオフィシャル・クラブです。

友の会・会員さんには楽しい投資研究所 特製の会社分析レポートや、各種お知らせを一般に先駆けて先行公開しています。

入会金・年会費は無料。コストは一切かかりません。入会手続はとても簡単。2 分でできます。ご興味がおありの方だけこちらからどうぞ。 <http://www.1toushi.com/oc/>

<楽しい投資研究所>

HP <http://www.1toushi.com/>

□楽しい投資研究所のミッション:

決算書を、投資家にとって身近なものとする。ひいては日本の証券取引の場を、健全な資本市場とし、市場を通じた コーポレートガバナンスによって、優れた、尊敬できる会社をバックアップし、さらには豊かで幸せな国づくりに資する。

<楽しい投資研究所 庄司卓矢の著書>

バフェットの謎(技術評論社) <http://amzn.to/m8lozc>

決算書投資術(総合法令) <http://amzn.to/137eazR>